

地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト) 交付決定事業 (一覧)

(単位:千円)

団体名		事業名	交付額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	モデル性・公益性
1	北海道 帯広市	「Tsunagiシステム」を通じた農家と働き手の相互成長の実現による地域活性化事業	3,000 (国費 3,000)	3,000	帯広信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・農繁期における農作業の担い手不足 ・若者の進学、就職等に伴う若年労働力不足 ・農業の担い手の高齢化や後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の畜産大学生の発案を具現化した農家バイトのマッチングWEBシステムを活用し、地元の畜産大学生を中心とした農作業希望者と農家のバイトニーズのマッチングを図る。農繁期における担い手不足の解消と若年者を中心とする地域人材の定着・雇用拡大を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITを活用した農家・働き手双方による相互評価システムによる相互成長支援の仕組みを通じて農家と働き手の深い関係性を育み、地域農業を支える地域コミュニティの創出 ・地元大学生が発案したアイデアは「北の4大学ビジネスプラン発表会」でグランプリを獲得
2	秋田県 大館市	伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」を核とした複合型賑わい・交流拠点リノベーション事業	18,000 (国費 12,000 地方費 6,000)	18,000	秋田銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・若者定着と雇用の創出 ・駅前周辺の活性化 ・伝統工芸品製作職人の高齢化と担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品「大館曲げわっぱ」を核とした複合型賑わい・交流拠点を駅前に整備 ・ニーズの高い「大館曲げわっぱ」の制作体験の場とショップ、ギャラリーを設置するとともに「大館曲げわっぱ」を器とし、地場産食材を提供するカフェテリア、コワーキングスペースを併設することにより、賑わいの相乗効果を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い「大館曲げわっぱ」制作体験ニーズに対応できるワークショップを初常設することにより、顧客の満足度の向上及び滞在時間の長期化 ・カフェには「大館曲げわっぱ」の器等を提供し、コワーキングスペースはサテライトオフィスやスタートアップ拠点として活用
3	秋田県 八郎潟町	じゅんさいプラント栽培事業	25,000 (国費 25,000)	25,000	北都銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化に伴う担い手不足 ・米中心の農業から転作するも所得向上の伸び悩み 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県特産のじゅんさいを実用新案登録の認定を受けた新技術によるプラント水耕栽培する設備とビニールハウスを整備 ・ビニールハウス内のプラントで栽培することにより、農薬及び殺虫剤が不要となり、高品質で高付加価値のオーガニックじゅんさいとして安定的に収穫が実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ次世代農業モデルとして、周辺農家への波及を推進。農家の所得向上を図るとともに、周辺地域を巻き込み、一大産地化へ ・将来的には観光客向けの収穫体験を実施できるような観光拠点も整備し、外国への輸出も計画
4	愛媛県 新居浜市	障害者の一般就労に向けた次世代働き手育成の場創出連携事業	15,000 (国費 7,500 地方費 7,500)	15,000	東予信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・働き手世代人口の減少により、働き手不足が慢性化 ・貧困家庭やひとり親家庭等への支援不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者を雇用し、地元特産品を活用した地産地消型の食堂の設置・運営。障がい者施設同士の連携を活かしつつ、障がい者の職業訓練の場を構築し、地域企業へ人材を輩出 ・子供食堂や地域コミュニティの構築を実施し、貧困家庭支援や子育て相談などの地域課題に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂では地域資源の生産者にもメリットとなるように、規格外品を積極的に活用。連携する福祉施設が栽培する野菜も活用し、福祉と飲食店経営との連携モデルを構築 ・障がい者と接する機会や場を創出することにより、障がい者理解への機運を醸成

参 考

団体名		事業名	交付額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	モデル性・公益性
5	大分県 宇佐市	再生可能エネルギーと 農業の融合による 地域活性化エコモデル 事業	40,000 <small>(国費 26,666 地方債 13,334)</small>	80,000	大分銀行	・若年層の人口流出 ・農業就業人口の高齢化及 び減少に伴う活用の難しい 小規模耕作放棄地の増加	・荒廃した耕作放棄地に建設さ れるバイオマスガス発電所にお いて、食品廃棄物からメタンを生 成する際に発生する副産物を液 肥や堆肥に再資源化する施設 や装置を設置 ・液肥や堆肥を地元農家に安価 で提供することで、農家の生産 性並びに所得向上に寄与	・バイオマス原料となる食品廃棄 物を有料で購入することにより、 地元の食品会社等の経費削減 を実現 ・荒廃が進み、不法投棄の温床 となっている耕作放棄地を再整 備。関連会社が「大分かぼす」栽 培の農園としても活用

101,000 141,000

(国 費 74,166
地方費 26,834)